



2014年環境レポート



新田ゼラチン株式会社 大阪工場

ごあいさつ

当社は1918年の創業以来、ゼラチン・コラーゲンという天然素材を主力製品とする事業を推進して参りました。それらの製造には多くの水資源、エネルギーを必要とするため、省資源、省エネには積極的に取り組み、設備更新時には省エネを考慮する等、環境への配慮も最大限行っております。

その結果エネルギー原単位は、前年度比約8%減と大幅に削減することができました。

今年度はさらに、原発停止による電力会社の供給力不足が懸念されるため、夏冬平日昼間の電力需要ピーク時の節電にも積極的に取り組んでいきます。

これからも「人と環境に優しいモノづくりの追求」を合言葉に環境負荷低減を図り、社会に貢献する企業を目指していく所存です。

2014年 5月 21日
取締役 環境管理担当
佐々木 恒雄

環境方針

大阪工場環境方針

人と環境に優しいモノづくりの追求を通じて、社会への貢献と、かけがえのない地球環境を守る事業活動を行います。

- 環境目的・目標を定め、定期的に見直し、継続的改善を実施する
- 省資源、省エネおよび廃棄物の削減に取り組む
- CO₂削減に努め、地球温暖化防止に貢献する
- 電力需要ピーク時の節電に努める
- 法順守を合い言葉に地域社会とコミュニケーションを図り、環境保全活動に取り組む
- 環境方針および環境活動内容を開示する
- 教育・社内広報などを通じて全従業員に対し、環境意識の向上を図る

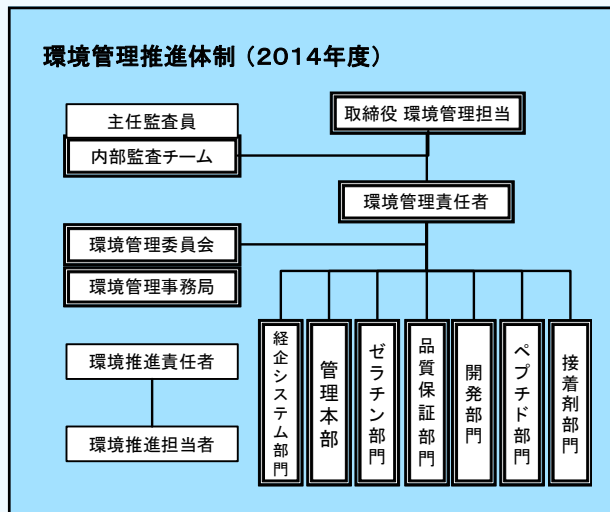
2014年 4月 1日

推進体制

大阪工場では、経営層（取締役環境管理担当）、環境管理責任者、各部門長である環境推進責任者と主任監査員及び環境管理事務局から構成される「環境管理委員会」を四半期毎に開催し、環境方針、目的・目標を立案、それらを達成するための方策及びその達成度等について協議・決定しております。

そこでの決定事項や伝達事項等は、各部署の環境推進担当者に周知します。

また毎月各部署で集約されたエネルギー使用量やCO₂排出量、その他環境パフォーマンスの監視状況は環境管理事務局で管理し、必要に応じて環境管理責任者が各項目毎に具体的な対応策を検討して実施し、環境マネジメントシステムの運用と継続的改善に繋げています。



環境への取り組み

当社大阪工場は水と大気において大きな環境負荷を与えています。
これらの負荷軽減のために大阪工場では継続的な取り組みを進めてきました。

1. 過去10年の取り組み

- 2004年 広域下水道への接続(水濁法、瀬戸内法の適用解除)
- 2005年 高効率型ボイラーへの更新(5か年計画ー開始)
- 2006年 乾燥工程冷温水機を高効率型へ更新(4か年計画ー最終)
- 2008年 多連ボイラー集中制御装置を更新(エネルギー効率の向上)
- 2010年 高効率型ボイラーへの更新(5か年計画ー最終)
- 2012年 高効率型濃縮機導入による省エネ・CO₂削減
工場全体の節電対応(シフト生産、業務部門の省エネ対策)
ファックスのペーパーレス化によるコピー用紙削減
- 2013年 高効率型濃縮機の100%稼働
工場全体の省エネ(休憩時間内の空調・照明の停止、OA機器の省電力設定、不要機器の節電、クールビズ・ウォームビズの励行等)
社内イントラネット導入による業務効率化、ペーパーレス化



高効率型濃縮機



事務所省エネの一例(部分照明)

2. 今年度の取り組み

- ・工場全体の継続的省エネ推進(週2日ノー残業デーの設定)
- ・政府節電要請期間(夏期及び冬期)の電力需要ピーク時の節電対応(社内ハンドドライヤーの一時停止、個人使用暖房器具の使用制限等)
- ・社内イントラネット活用によるさらなる効率化

3. その他の取り組み

- ・冷却水系統クーリングタワー循環水薬注によるスライム除去、定期清掃
- ・製造工程の効率化により、エネルギー効率を向上
- ・紙包材の紙資源化、熱資源化
- ・フレコンバッグの再利用
- ・グリーン購入調達の推進
- ・事務用品の再利用化による購入削減の啓蒙活動

2013年度 環境活動実績 (2013年4月1日～2014年3月31日)

大阪工場では、環境活動を推進するため、年間計画を立て目標達成に努力しております。

2013年度は2012年度に導入された高効率型製造設備が本格稼働したことで、エネルギー原単位は、前年度比約8%減と大幅に削減しました。その一方でゼラチン生産量前年比10%増の影響により、CO₂排出量は2010年度比12%減に留まり、目標値(2010年度比23.5%削減)を達成することはできませんでした。

廃棄物については、リサイクル化推進を進めており、埋立廃棄物については目標より20%少ない排出量に抑えました。全廃棄物リサイクル率についてもこれまで通り100%に近い状態を維持できています。

水資源については、市水道がゼラチンの増産や実験設備での使用量増により前年度に続いて増加する結果となりました。紙資源については、一昨年にコピー用紙使用量が上場申請準備のため一時的に増加しましたが2012年度以降は減少し、2013年度は前年比で約3%減少しました。

環境目的	環境テーマ	実績	評価
環境法規制順守	環境法規制に基づく運用管理の徹底	予定通り実施	○
	是正措置の実施	異常なし	○
	環境影響の予測	新規導入設備のアセスメントを7件実施	○
省エネルギーの推進	製造エネルギー原単位の削減(前年実績未達)	8.2%削減で、目標達成	○
CO ₂ 排出量削減	大阪工場全体のCO ₂ 排出量削減(2010年度比 -23.5%)	10.6%削減(10年度比)で、目標は未達	×
廃棄物の削減	埋立廃棄物の削減(5t以下)	排出量4tに抑え、目標達成	○
廃棄物の適正処分	廃棄物リサイクル化の維持・管理	廃棄物リサイクル率99.75%	○
水資源の削減	市水道使用量の削減(前年実績未達)	5.7%増加で、目標未達	×
紙資源の削減	紙の使用量の削減(前年実績未達)	2.6%削減で、目標達成	○
化学物質の適正管理	化学物質の適正管理	適切に管理されている	○
環境教育の推進	一般啓蒙教育の推進(都度)	予定通り実施	○
	啓蒙活動の推進(3回/年)	予定通り実施	○
	指定業務教育の推進(都度)	予定通り実施	○
	内部監査員教育の推進(1回/年)	予定通り実施	○
工場周辺の環境整備	地域清掃の実施(2回)	予定通り実施	○

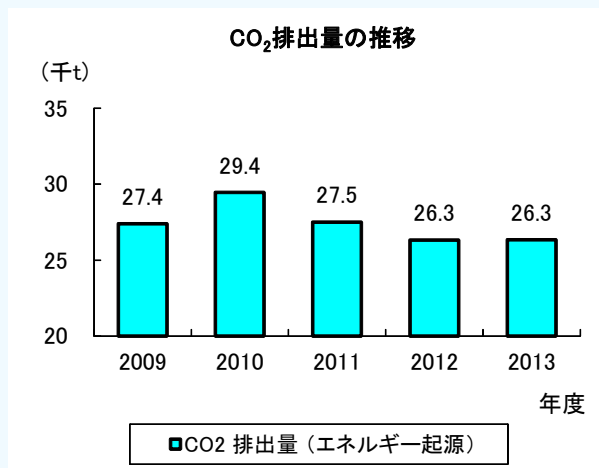
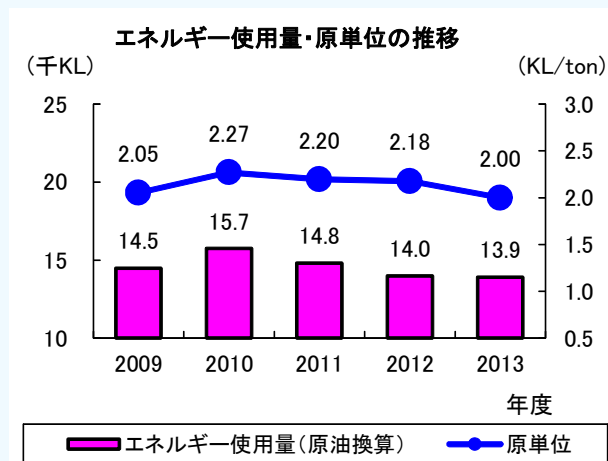
○：目標達成
 △：前年実績は下回るが、目標は未達
 ×：前年実績・目標ともに未達

省エネ活動とCO₂削減への取り組み

大阪工場では、製造部門においてエネルギー消費の効率向上のために工程の改良に努め、さらに業務部門でもO A機器や照明・空調などの省エネ推進を展開しております。

2013年度のエネルギー使用量(原油換算)は、2012年度に導入した高効率型設備の効果もあり、前年度比0.7%削減、原単位(製品1トンあたりのエネルギー使用量)は、前年度比マイナス8.2%でした。

CO₂排出量は、ゼラチンの生産量前年比10%増という状況でしたが、前述の省エネ努力により前年度比プラス0.1%と、増産の影響は最小限に抑えることができました。

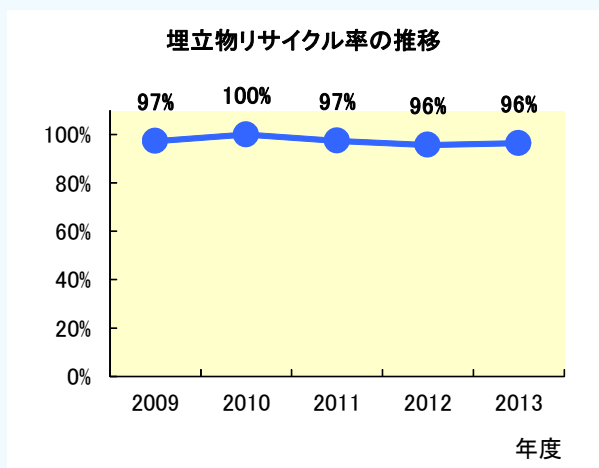
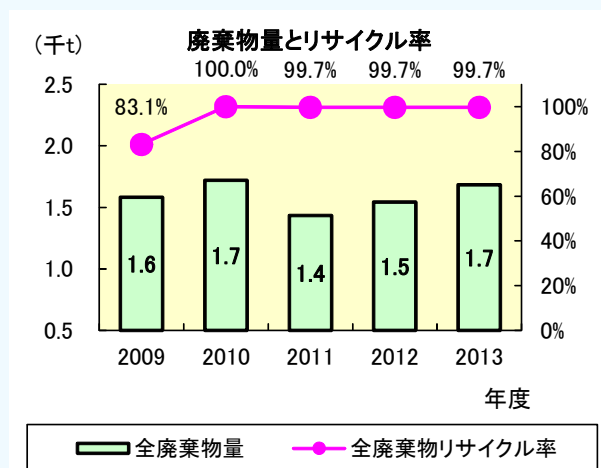


廃棄物削減活動

大阪工場の2013年度廃棄物排出量は、主力製品増産の影響で前年比9.2%増加しました。

全廃棄物のリサイクル処理率(熱リサイクル含む)は、2013年度は前年に引き続いて99.7%でした。

埋立廃棄物については、社内での分別回収の徹底を図るとともに、再資源化専門業者と共同で廃棄物処理の適正化に取り組んだ結果、2013年度は埋立物リサイクル率として96.4%を達成しました。

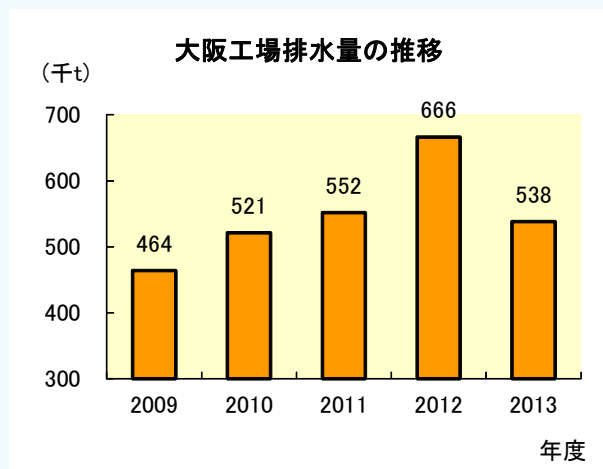


省資源活動

1. 水資源

大阪工場では、ここ数年、工程排水の再利用等による取水量削減に取り組んでいます。2013年度は一時的に増加した前年からは減少し、工場排水量は一昨年までの水準に戻りました。

今後も引き続き作業工程の見直し等により、水の使用量削減に取り組む予定です。

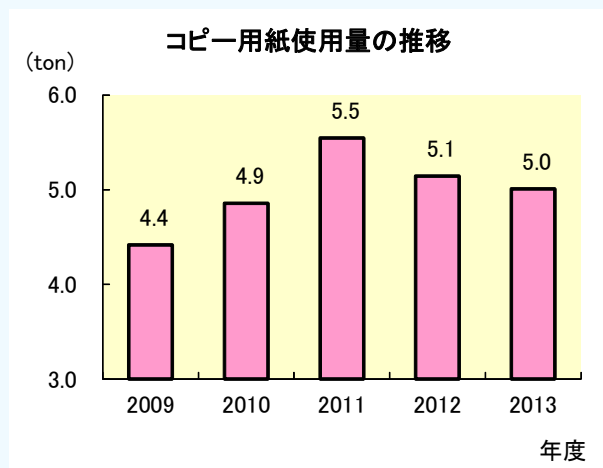


2. 紙資源

2013年度は、社内イントラネットやクラウドの活用等による社内IT化を推進しました。

その結果、前々年度上場申請準備により、一時的に増加したコピー用紙使用量は、前年に続いて減少し前年比で2.7%減少しました。

今後も、よりいっそうの業務効率化を推進し、紙資源の節約努力を行っていきます。



教育活動

大阪工場で働く全ての従業員を対象に、新入社員教育、一般教育、推進担当者教育等を推進し、意識向上・啓蒙活動に努めています。

1. 環境セミナー

大阪工場の全従業員対象の啓蒙活動を目的とした環境一般セミナーを7月に行いました。

2013年度は、リサイクル関連の環境ビデオ上映と事務局による社内廃棄物処理の説明を行い、従業員の意識向上を図りました。



環境一般セミナー（2013年7月）

2. 社内報

社内報には、定期的に環境特集記事を掲載し、環境活動の重要性や社内での活動報告を行い、従業員の意識向上を図っています。



社内報記事（2013年11月）

緊急事態対応

1. 消防訓練

大阪工場全体で毎年八尾市消防署の指導の元、消防訓練を行っています。

2013年12月に火災発生を想定した避難訓練、自衛消防団による放水訓練、AEDの実地訓練等、多岐に渡って行われました。



消防訓練（2013年12月）

2. 模擬訓練

大阪工場内で緊急事態が生じたときの環境汚染の拡大を防止するため、各対象部署において事故・緊急事態を想定した模擬訓練を実施しております。

2013年12月には薬品漏洩を想定した模擬訓練を行いました。



薬品漏洩模擬訓練（2013年12月）

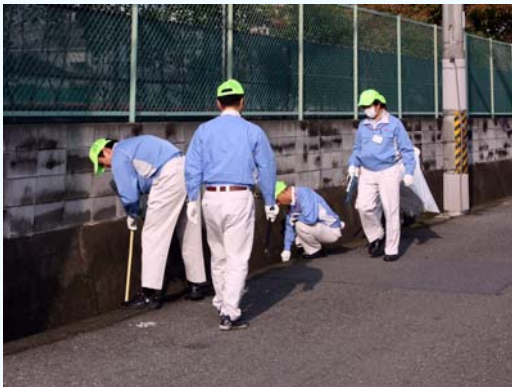
企業市民としての活動

社会貢献活動

地域の方々との関わりの中から、信頼される良き企業市民として地域社会との共生に努めています。

1. 地域清掃

2001年度から始まった大阪工場周辺地域の清掃も定期的に活動し、2013年度は6月と11月に実施しました。



工場周辺清掃（2013年11月）

2. 地域緑化

外から見ていただいても緑が目に入るように、定期的に敷地内にハナミズキ等を植樹し、工場周辺を含めた地域の緑化に貢献しています。



記念植樹の様子（2014年4月）

3. 工場緑化

工場内の緑化にも力を入れています。工場の中庭には季節毎に野鳥が訪れ、正門横や各棟の入り口には季節の花が咲き心をなごませてくれます。



工場内風景（2013年5月）

4. 工場見学

大阪工場では、小学3年生を中心に近隣地域小学校の社会科見学を受け入れております。

2013年度は11校総勢900名弱の方々にも工場を見学いただきました。

工場内で働く人の様子やものづくりの見学、ゼラチンを使ったお菓子づくりの体験を通して、食品工場における手洗い・ゴミの分別方法などを紹介しております。



近隣小学校工場見学の様子（2013年11月）

2014年度 環境目的及び目標

2014年度の大阪工場環境保全活動の目的・目標は、2013年度の実績・見直しを基に、具体的な行動展開につなげるべく目標を設定して推進して行きます。

環境目的	環境テーマ	目標値
環境法規制順守	環境法規制に基づく運用管理の徹底	法順守
	是正措置の実施	実施
	環境影響の予測	アセスメント実施
省エネルギーの推進	製造エネルギー原単位の削減 (省エネ法への対応)	前年実績未滿
CO ₂ 排出量削減	大阪工場全体のCO ₂ 排出量削減	前年度比 -1.0%
廃棄物の削減	埋立廃棄物の削減 (処理業者見直しによるリサイクルへの転換)	5t 以下
廃棄物の適正処分	廃棄物リサイクル化の維持・管理	排出量管理
水資源の削減	排水量の削減	監視
紙資源の削減	紙の使用量の削減	前年実績未滿
化学物質の管理	化学物質の適正管理	使用量管理
環境教育の推進	一般啓蒙教育の推進	都度実施
	啓蒙活動の推進	3回/年
	指定業務教育の推進	都度実施
	内部監査員教育の推進	1回/年
工場周辺の環境整備	地域清掃の実施	2回/年

発行元 : 新田ゼラチン株式会社 大阪工場
発行責任者 : 環境管理責任者 吉村 充浩
発行日 : 2014年 6月 1日
お問合せ先 : 大阪工場 管理本部 工場管理センター(小田)
住所 : 〒581-0024
大阪府八尾市二俣2-22
電話 : 072-948-7190(直)
FAX : 072-948-8207

表紙写真 : 大阪工場 クラブ棟前
撮影年月 : 2014年5月